第９回全員協議会会議記録

開閉会日時	令和４年１月２０日（火曜）　午前１０時００分　開会		
	休　憩　10:03-04　10:12-13　11:08-25　11:43-45		
	午後１２時０３分　閉会		
会議場所			
出席議員氏名	議　長　早苗　豊	議　員　寺町　平一	議　員　堀切　忠
	副議長　常通　直人	議　員　鈴木　健充	議　員　橋本　和仁
	議　員　西尾　一則	議　員　中村　和宏	議　員　中田智惠子
	議　員　柴田　正博	議　員　立川　美穂	議　員　黒田　栄継
	議　員　広瀬　重雄	議　員　梶澤　幸治	
	議　員　正村紀美子	議　員　渡辺洋一郎	
欠席議員氏名			
説明等に出席した者の氏名			
事務局職員	事務局長　安田　敦史	総務係長　佐藤　史彦	同主査　上田　瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

１　開　会

議長が開会を告げ、事務局から日程を説明する。

２　議　件

（１）　協議事項

ア　芽室高校との意見交換会実施結果について　資料１

イ　白樺高校との包括連携協定事業（１学年）実施要領について　資料2-1～2-3

ウ　議員の定数と報酬のあり方について　資料3-1～3-5

エ　第２回モニター会議開催要領案について　資料４

３　その他

２　議　件

（１）協議事項

ア　芽室高校との意見交換会実施結果について　資料１

・事務局長：資料説明＜第８回全員協議会（12 月 21 日開催）で決定した実施要領に基づき、去る 12 月 23 日に開催した意見交換会実施結果。議会だよりを「良いところ」「問題点」「改善策」の３区分に整理したもの。事業結果の取扱いに関する議運の整理は、今後の編集において、編集企画会議で反映の可否を随時検討しながら取り組むこととし、本日の全員協議会で合意形成を図りたい旨の説明＞

・議　長：意見・質疑はないか。
・立川議員：意見交換会で持参した資料は？
・常通議員：編集企画会議が編集に携わった議会だより７月号から１２月号を持参した。
・（意見・質疑なし）
・議　長：説明内容のとおり決定する。

イ　白樺高校との包括連携協定事業（１学年）実施要領について　資料2-1～2-3
・事務局長：資料説明＜第６回全員協議会（10 月 22 日開催）で決定した１学年対象の日程について、先方との協議により詳細が確定したことから、共通認識を図り決定したい旨の説明。資料 2－1 は全体日程、資料 2－2 は議運担当の事前学習資料、資料 2－3 は議員出席一覧＞
・議長：意見・質疑はないか。
・中村議員：説明を補足する。フィールドワーク（議会体験）における各委員会からの参加委員の考え方については、議員参加数及び参加者の選定は、委員会に委ねることとしたい。
・橋本議員：オミクロン株の感染拡大の状況を鑑みると、当該事業の延期も検討してはいかがか？
・常通議員：延期に関する具体的な考え方は？
・橋本議員：具体的な延期の時期は明言できない。ただ、今般の状況が落ち着くまでは慎重にすべきと考える。
・常通議員：意見の趣旨は理解する。ただし、先方との協議により進めてきていることを理解いただきたい。
・橋本議員：私も常通委員の意見の趣旨は理解する。ただし、改めて学校の意思も確認していただきたい。日々、状況変化している感染症の拡大を慎重かつ的確に捉えて、事業実施の可否及び是非を判断していただきたい。
・常通議員：承知した。
・梶澤議員：議会活動は BCP が基本という認識である。しかしながら、ここ数日の北海道、十勝でのコロナの感染状況を見ると、今後の状況も一定見通しながら実施の可否を検討すべきと考える。今回の提案は、議運として、今後における学校等での感染発生も視野に入れた検討結果と捉えて良いか？
・常通議員：あくまでも BCP が議会活動の基本である。発生した様々な事象を BCP に適合させて、事業の可否や手法を考えていくことは想定の範囲である。
・梶澤議員：学校側との協議の（コロナ感染の）内容は？
・常通議員：具体的な設定（感染者数等）の協議はしていないが、常識的な判断で取組んでいきたいということを共有している。
・梶澤議員：常識的とは？コロナ感染対策として共通認識を図る意味では、可能な範囲で対応方針を明確にしておくべきではないか？
・常通議員：常識的という発言を撤回する。答弁の趣旨は、コロナの状況を双方で都度確認しながら、丁寧に協議して事業の実現を目指していきたいという共通理解

である。
・中村議員：事業実施に向けて、模索して取り組んでいることを理解いただきたい。
・梶澤議員：今般の状況を鑑みると、延期の協議をすべきではないか。
・立川議員：報道によると、北海道は、国に対して、まん延防止等重点措置の要請をするようだ。この動きをどう捉えるか？
・中村委員：ご指摘の状況も踏まえて、先ほど常通委員が発言したとおり、発生した事象をBCPに照らし合わせて、議会活動のあり方を判断していきたい。
・柴田議員：道の動きも去ることながら、芽室町議会としてどう動くかを判断、決断すべきと考える。
・広瀬議員：BCPは議会機能を継続する大前提としての拠り所である。白樺高校との連携事業は双方の協定による独自の事業。この２つの定義と目的を踏まえて、並行して検討し取り組むべきである。白樺高校との事業については、BCPのフェーズが変わらなくとも、双方の協議により実施の可否を検討しても良い事業である。今一度精査していただきたい。
・議　長：議員各位の意見を踏まえて、議運として、改めて、白樺高校との意見交換を密にし、事業の可否及び実施方法を協議していくことで良いか。
・（意見・質疑なし）
・議　長：まとめのとおり、決定する。

ウ　議員の定数と報酬のあり方について　資料３
・事務局長：資料説明＜第８回全員協議会（12月21日開催）における協議結果を踏まえて整理した資料。第２回モニター会議（１月27日開催）に臨むにあたり議会の共通認識資料として作成。資料3－1は共有事項５項目、資料3－2は検討スケジュール、資料3－3は検討項目別基本事項で、10・11ページはモニターへは未配布、資料3－5は前回（平成26年11月）の定数と報酬の答申資料であり、モニター会議前に各自一読いただきたい旨説明）
・議　長：意見・質疑はないか。
・立川議員：前回、提案した議会フォーラムの開催の検討は？
・中村議員：議運で協議した結果、フォーラムは実施しないことで整理した。感染症対策も念頭に置き、不特定多数の参集となるフォーラムは見合わせることとしたい。そのため、今回は、議会改革諮問会議、モニター会議、PTAとの意見交換などの手法により、膝を交えた意見交換の場を活用するとともに議会だよりで随時検討経過を公表し、意見を求める手法としたい。なお、検討の熟度が高くなり素案が示される段階においては、インターネットを活用したアンケート等を実施するなど、住民参加の趣旨を踏まえた結論を導くことに努めたいと考えている。
・立川議員：町民にとって関心事が高い。より丁寧な住民参加が必要ではないか？
・正村議員：議運としての検討進捗度は、各項目について具体的な方向性を示せる段階までには至っていない。今後に向けて、手元のスケジュールで示したとおり、凝縮した期間での効率・効果的な検討となるが、議会内部における議論や協議、また、町民参加による検討や協議も十分念頭に置き、かつ、感染症の状況を踏まえた

会議等の手法の選択や住民参加の手法を精査しながら、検討の精度を高めていきたい考えである。

・立川議員：一定の理解はする。しかしながら、町民参加は重視すべきである。フォーラムはオンラインでも可能である。

・中村議員：ご提言の内容もひとつの手法と捉える。ただ、議運としては、報酬・定数のテーマを広く議論するには、フリーハンドで自由に参加していただくことより、一定の基礎知識を理解していただいた上で議論することが必須と考えている。

・議　長：他に、意見はあるか？

・立川議員：（６月定例会議初日提案を想定した）スケジュールを遅らせても、住民参加の手法を用いることを希望する旨の意見を申し上げる。

・梶澤議員：スケジュールについては、目標を設定して取り組んでいいることを理解する。ただし、報道等で、他の自治体議会における「定数と報酬の検討状況」を見ると、住民参加によって反対されるケースもある。感染症対策も視野に入れながら、住民参加の手法については、検討を重ねていただきたい。ちなみに、スケジュール表に示されている「町民参加手続」とは具体的に何を指すのか？

・中村議員：パブコメである。

・梶澤議員：町民への情報発信や協議・共通認識はもとより、議会内部での議論・共有も必須。議員が数人の小グループに分かれてのワークショップなどの手法も有効。そのあたりの議運内での検討は？

・中村議員：今後、議運で検討する。

・梶澤議員：議員のミーティングとしての位置付けでも良いので、議員間討議の予定も検討していただきたい。

・正村議員：資料３－２「議員の定数と報酬のあり方検討スケジュール」をご覧いただきたい。表の欄外に今後の全員協議会の協議概要とスケジュールを整理した。現段階での予定として理解していただきたい。ご提言の手法は、今後の議運における検討事項としたい。

・梶澤議員：各分析資料の協議は、いつ行うのか？

・正村議員：現時点で、具体的な日程は明言できない。本日の提案趣旨は、資料で示した「基本的事項」の議会内共通認識であることを御理解いただきたい。

・梶澤議員：承知した。今後の議論として、各項目の是々非々が議論できるように、非公式でも良いので、場の設定を期待するものである。

・議　長：議論の手法や取組みは、議運に諮問したものである。本日いただいた意見を踏まえて、議運として今後の協議に反映していただくことを改めてお願いしたい。また、住民参加手法についても、様々な角度から考えて検討いただきたい。

・広瀬議員：今回の検討スケジュールは、前回の諮問・答申のスケジュールと同じと考えて良いか？前回は議会改革諮問会議の答申を受けて、その後に議会として議論を深め、議運の答申としたが、今回も同様か？

・議　長：前回と異なるのは、今回は諮問会議に対しては、具体的な数値や金額を諮問しているものではなく、「報酬と定数のあり方」を諮問しているところである。前回の答申内容を現状に適合させたときに、時代背景等を踏まえて変化、改善す

べきところの有無の検証等となっている。ついては、この旨を議運においても共通理解をいただきたい。
・広瀬議員：諮問会議の答申を待たずに、議員間討議ができることを理解した。詳細は議運に委ねたい。なお、当初の目標（スケジュール）に固執せず、可能な手法で町民参加を尊重する手法を期待する。
・中村議員：趣旨を十分尊重して臨みたい。
・立川議員：この議論に参加することを通じて、将来、地方議会の議員を目指す人財が生まれる可能性を秘めていることも視野に入れて、検討していただきたい。
・（意見・質疑なし）
・議　長：委員各位からの意見を踏まえて、今後も継続的に検討を進めていくこととする。

エ　第２回モニター会議開催要領案について　　資料４
・事務局長：資料説明＜第８回全員協議会（12 月 21 日開催）における協議結果を踏まえて整理した資料。日程等は前回説明のとおり変更なし。資料の６ページにモニターの出欠確定に基づくグループワーク進行要領及びグループ編成整理。17 名中 15 名出席、うちオンライン６名。＞
・議　長：意見・質疑はないか。
・立川議員：オンラインの議員の参加方法は？
・総務係長：１台の端末に３人が参加。
・立川議員：グループディスカッションにおいて、各グループでは端末上での情報共有に色々と工夫したいと思うが、統一的な手法は念頭に置いているのか？
・議　長：可能な範囲で議運内で検討していただきたい。マンパワーの関係もあるので、実施の可否については議運に委ねていただきたい。
・広瀬議員：議員は３人一緒の画面に映るという意味か？
・総務係長：お見込みのとおりである。
・広瀬議員：その手法は、オンラインではあまり得策ではないのではないか？
・正村議員：モニターから議員に対する質疑対応について、議員の共通理解が原則となるため、グループワークの趣旨を満たす手法として１台の端末とした。
・梶澤議員：４５分の進行手法を議運で改めて議論していただきたい。例えば、議運のメンバーが代表して答えていくなどの手法はいかがか？
・正村議員：本日ご提示した資料を共通認識とし、議員全員が対応できる心構えはお願いしたい。質疑応答のパターンのみではなく、モニターからの多くの意見を引き出すことに軸足を置きたい思いである。聞き取るだけのレベルになるかもしれないが、個々に対応できるように意識していただきたい。
・梶澤議員：趣旨は理解する。ただし、一例をあげると「政務活動費」のような定義を問われた場合は、議運で対応するなどの答弁基準は整理しておかなくても良いか？
・正村議員：議運に限定せずに、資料を一読いただき全員で臨みたい。
・議　長：他にないか？

・（意見・質疑なし）
・議　長：当日に向けて、委員各位の御理解と御協力をお願いし、説明内容を決定とする。

３　その他
・事務局長：第８回全員協議会で共通認識を図った新年度予算案中「研修会講師謝礼」150 千円×２回について、議会運営の案を整理中につき情報共有したい。なお、研修希望のメニューがあれば事務局長にお知らせ願いたい。なお、来週が予算の理事者査定であり、役場全体としての新年度予算案編成完了までには確定させて予算提案に臨むことになり、今後は、議運一任として決定を委ねていただきたい。
・議　長：説明のとおりとし共通認識を図りたい。意見・質疑はないか？
（意見・質疑なし）
・総務係長：北大公共政策大学院との議会活動外部評価に係る今後の日程について、情報共有したい。現在、北大との間で、議員全員と事業協力者（議会活動に関して意見交換をした町内関係団体等）を対象にした研究成果の報告会を２月１６日（水）の夜を案として調整している。参集数は約４０人程度につき、中央公民館での開催を予定している。なお、今後の新型コロナウイルス感染症拡大により、北大の学生が来町不可となった場合は、オンライン開催となる。
・議　長：説明のとおりとし共通認識を図りたい。意見・質疑はないか？
（意見・質疑なし）
・議　長：以上で会議を終了する。

傍 聴 者 数	一般者	０名	報道関係者	１名	合　計	１名

記載のとおり報告する。

令和４年１月２０日

芽室町議会議長　早　苗　　豊